

令和6年度 保護者アンケート集計結果

青森県立青森聾学校

回収率100% (全17名)

4: そのとおりである 3: おおむねそのとおりである 2: やや違う 1: 違う

NO	評価項目	評価(人)				R6 平均	R5 平均
		4	3	2	1		
1	学校は、お子さんに合った内容や指導方法で授業を行っている。	9	7	1	0	3.5	3.4
2	学校は、お子さんの学習習慣や読書の習慣を育成するため、宿題を出したり(幼稚部では絵日記等)、予習復習を促したりするような指導をしている。	8	8	1	0	3.4	3.4
3	学校は、保護者・地域の願いに添った教育を展開している。	9	6	2	0	3.4	3.4
4	学校は、授業や行事などを参観する機会を十分設けている。	10	6	1	0	3.5	3.4
5	学校は、学校での様子を口頭、または、連絡帳や便りなどを使い、分かりやすく伝えている。	11	6	0	0	3.6	3.6
6	学校は、保護者の皆さんと話し合う機会を適切に設け、悩みや相談に対応している。	10	5	2	0	3.4	3.4
7	お子さんは、学校が楽しいと思っていると思う。 ※未回答1	9	7	0	0	3.6	3.2
8	学校は、コミュニケーション方法や教材等を活用し、分かる授業の向上に努めている。	10	6	1	0	3.5	3.4
9	学校は補聴器等の使用や管理について、ていねいに教えている。	7	8	2	0	3.3	3.2
10	学校は、保育園、小学校、中学校、高等学校等と交流及び共同学習を推進している。	9	7	1	0	3.5	3.4
11	学校は、将来に向けての進路指導や進路の情報を伝えている。	7	10	0	0	3.4	3.1
12	学校は、いじめ防止といじめの早期発見のため、児童生徒との面談や「相談カード」への記入や対応を行い、相談を働きかけたり、指導を行ったりしている。	9	7	1	0	3.5	3.1
13	学校は、事故防止のため、お子さんの健康や安全に気を付けた指導をしている。	7	10	0	0	3.4	3.2
14	学校は、校舎の整備や校内外の安全に気を付けている。	9	8	0	0	3.5	3.2
15	学校は、お子さんの健康(ケガ、病気)について、家庭への連絡をしている。	12	5	0	0	3.7	3.5
16	学校は、栄養バランスを考えた給食を安全に提供し、食に関する情報提供をしている。	12	5	0	0	3.7	3.5
17	学校は、PTA活動等において、保護者の皆さんと話し合う機会を持ち、協力して活動している。	8	8	1	0	3.4	3.1
18	学校は、教材費や給食費など学級徴収金に係る説明を適切に行っている。	8	9	0	0	3.5	3.4

★学校に対して、御意見や御要望がありましたら、お書きください。

- ・人工内耳、補聴器の取扱いを慎重にしてほしい。
- ・PTA活動について、保護者の参加が少ない。研修委員会、広報委員会と分けても、参加人数は少ないので、委員会は廃止してもよいと思う。協力し合って、子どものために何が出来るか考えていきたい。
- ・校地内の安全確保(保護者の幼児児童生徒に対するシートベルト着用、子どもの実態に応じて玄関まで保護者が同行等)をしっかりしてほしい。
- ・子どもに対する声かけや会話を持つことが乏しく思う。個々の発達等に合わせて、学校全体で共通理解を図った対応をしてほしい。

★集計の概要

全項目の平均値は3.5であり、全体的に高評価であった。

項目5「学校の様子を分かりやすく伝えている」、項目7「お子さんは、学校が楽しいと思っ
ていると思う」、項目15「お子さんの健康に関する家庭連絡」、項目16「給食の安全な提供と食に関する
情報提供」に関する項目の平均値が3.6以上で高かった。家庭との連絡及び説明が適切に行われてい
ることが窺える。引き続き、安全・安心な学校であるべく学校での様子を丁寧に伝えていく。

一方、3.3と比較的低かったのは、項目9「補聴器等の使用や管理」であった。自由記述にも丁寧
な取扱いを求める意見があった。そのため、ヒヤリハットの周知で都度、全体で確認することや幼児
児童生徒に気になることがあったら先生に伝えるように促すこと、保護者への連絡の徹底、教職員間
で使用や管理の注意点を共通理解する機会を設定する等、確認する必要があると思われる。

昨年度、平均に比べ低い評価だった項目11「進路指導や進路情報」、項目12「いじめ防止と早期
発見」、項目17「PTA活動」は改善傾向がみられた。進路については、校長だよりで紹介したり、
現場実習報告会を当該学部以外の保護者にも案内したり、外部講師による進路に係る講演会等を実施
したりしたことにより、一定の評価が得られたのではないかと考えられる。次年度は、学校だより等の発行により
将来に向けた各学部の取組を学部の枠を越えて情報発信する機会を検討する。PTA活動については、
引き続き、活動内容や体制の在り方を、保護者とともに検討していく必要があると思われる。